

13. 整形外科 臨床研修プログラム (選択)

1. 研修目標【GIO】

整形外科的な診察や処置などの基本手技、術前・術後管理、手術などを研修し臨床医としての素養を身につけることを目的とする。

2. 研修期間 4週～40週

3. プログラム指導者と参加施設

プログラム指導者 整形外科 伊藤 芳毅
基幹病院 中部国際医療センター

【SBOs】

1) 基本的処置手技

各種注射、採血、穿刺、導尿、ガーゼ交換、ドレーン管理、胃管挿入、滅菌消毒、簡単な切開、皮膚縫合、包帯法

2) 基本的診断手技

3) 整形外科的診察手技：骨・関節・筋・神経の診察、徒手筋力テスト、

4) 各種画像診断：骨・関節の X 線、各種造影検査、MRI、エコー、シンチグラム、骨塩定量

5) 神経電気生理学的検査：NCV、関節穿刺、関節鏡検査

6) 術前・術後管理

術野の保清：剃毛、除毛、ブラッシング、輸液、輸血、呼吸循環管理、中心静脈栄養法、経腸管栄養法、合併症対策など

7) 保存療法

関節内注射、神経ブロック、ギプス包帯、副子の使用法、脱臼整復、牽引治療、理学療法

8) 手術療法

筋・腱縫合、骨接合術、関節切開、開放性骨折の救急処置など

4. 指導体制【LS】

1) 研修医は、常に指導医のもとに行動することを原則とする。特に危険を伴うと考えられる検査、処置、および手術は担当指導医の看視下で行う。

2) 救急患者が搬入されたときは、出来るだけその初期診療から関係を持ち診療する。

3) 指導医の誰かが当直をするときは、副直となり病棟での救急処置や時間外患者の救急処置について学ぶ。

5. 評価方法【Ev】

指導医は、自己評価結果を随時点検し、研修医の到達目標を援助する。

6. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	8:30~指導医と病棟 回診（問題患者の 診察、指示） 9:00~手術助手 （脊椎脊髄疾患）	8:30~整形外科カン ファレンスおよび 文献読書会 9:00~手術（脊椎ま た は人工関節手術）	8:30~指導医と救急 外来待機および 病棟回診	8:30~指導医と病棟 回診（問題患者の 診察、指示） 9:00~指導医と外来 （整形外科初診）、 見学、問診等	8:30~指導医と救急 外来待機および 病棟回診
午後	手術助手 （脊椎脊髄手術） 手術助手 （外傷疾患等）	手術助手 （外傷疾患等）	手術助手 （主に関節疾患）	13:00~脊髄造影検査 および神経根ブロッ ク（指導医のもと腰 椎穿刺および神経 ブロック等を実施） 15:00~整形外科病棟 総回診（全医師で 入院患者の診察）	手術助手 （主に外傷疾患）
夕方	17:00~その日の手術 の反省、術後評価	17:00~その日の手術 の反省、術後評価		16:00~整形外科カン ファレンス（治療方 針を検討、意見交 換）	17:00~その日の手術 の反省、術後評価
備考	研修期間中に、各専門分野の医師による（診療法、画像読影法、手術戦略の考え方などを含めた） レクチャーが行われる 研修期間中に各 1 回程度マンツーマンで指導				